

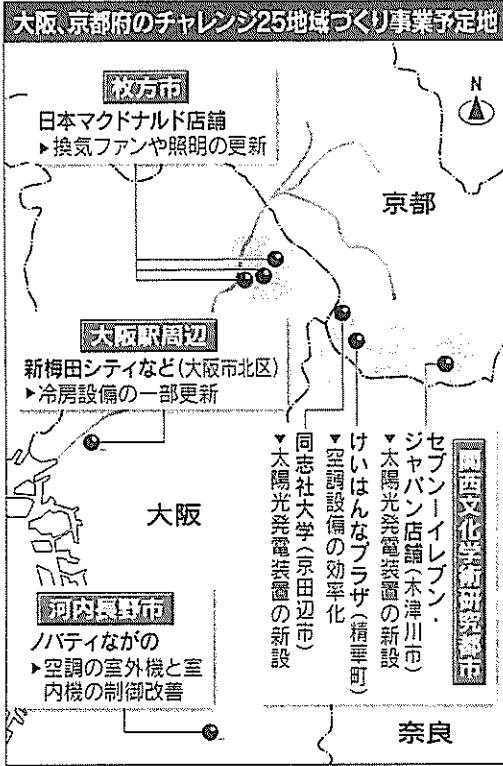
「CO₂25%削減」実証実験、関西4ヵ所で

ビル冷房・照明効率化 大学屋根に太陽光発電

新梅田
シティ
関西学
研都市

大阪府と京都府は地域を限定して、排出する二酸化炭素(CO₂)の25%削減に向けた集中的な実証実験を年度内に始める。大阪府は新梅田シティを含む3ヵ所、京都府は同志社大学を含む関西文化学術研究都市を予定地とし、業務ビルや大学校舎の空調と照明設備を更新したり、太陽光発電装置を新設したりする。将来、民間の協力を得ながら実験対象と似た地域の施設でも対策を導入するように働きかける。

大阪府と京都府は地域を限定して、排出する二酸化炭素(CO₂)の25%削減に向けた集中的な実証実験を年度内に始める。大阪府は新梅田シティを含む3ヵ所、京都府は同志社大学を含む関西文化学術研究都市を予定地とし、業務ビルや大学校舎の空調と照明設備を更新したり、太陽光発電装置を新設したりする。将来、民間の協力を得ながら実験対象と似た地域の施設でも対策を導入するように働きかける。



実験で空調システムを更新する新梅田シティ(大阪市北区)

年度内スタート 他地域のモデルに 国にデータ提示

大阪府は6億円以内になる見通しで、早ければ月内にも各自治体での実験場所などを含む詳しい事業内容と予算額が決まる。大阪府の予定地は、JR大阪駅周辺(大阪市北区)、枚方市、河内長野市の3ヵ所。大阪駅周辺では新梅田シティ、クリニング工場、外食店で実験する。新梅田シティでは敷地内の梅田スカイビルなどの空調を管理する積水ハウス梅田オペレーション(大阪市、鈴木貞二社長)がCO₂削減を率いる。新梅田シティでは冷房システムのうち、割安な深夜の電力で水を冷やして日中の冷房に利用する「蓄熱冷房」を、深夜に氷を作り日中に溶かして利用する「氷蓄熱冷房」に替えるといった実験を予定。氷蓄熱冷房は蓄熱冷凍機よりも少ない消費電力で効率的に冷房ができる。

このほか敷地内の街路灯の一部約30本を省エネLED照明に替える。低層ビルの屋上に20キロワットの太陽光発電装置を導入する。これらの対策により新梅田シティ全体のCO₂削減量は5%程度と試算。「今回の実験は将来25%削減するための第1段階。電気とガスの合計費用で年間換算2000万円が減らせる」と(積水ハウス梅田オペレーション)という。

枚方市では日本マクドナルドの3店舗で換気ファンや照明を更新。河内長野市では商業施設「ノバティながの」の空調設備の室外機と室内機の制御システムを刷新する。河内長野市では商業施設「ノバティながの」の空調設備の室外機と室内機の制御システムを刷新する。河内長野市では商業施設「ノバティながの」の空調設備の室外機と室内機の制御システムを刷新する。

京都府は関西文化学術研究都市の複合施設「けいはんなプラザ」(精華町)、同志社大学京田辺キャンパス(京田辺市)、セブーンイレブン・ジャパンのコンビニエンスストア店舗(木津川市)を予定地としている。けいはんなプラザは管理会社けいはんなが空調効率が高い最新設備に、窓を断熱性の高い二重ガラスにそれぞれ切り替え、屋上に太陽光発電装置を導入する。建物にはホテル、料理店、研究室などが入居しており、複合施設の温暖化対策のモデルにする狙いだ。

同志社大学は教室棟の空調設備を刷新。屋根に太陽光発電装置を導入し、発電量や消費電力量を館内に表示して学生や教職員の環境に対する意識啓発も図る。同京田辺校地施設課では「CO₂削減量は25%以上、電気代も年430万円削減できる見込み」と話している。

大阪、京都府が実験に取り組む「実証事業」の環境計画課と話している。

大阪、京都府が実験に取り組む「実証事業」の環境計画課と話している。

大阪、京都府が実験に取り組む「実証事業」の環境計画課と話している。

大阪、京都府が実験に取り組む「実証事業」の環境計画課と話している。